



HDメディアプレーヤー

O!PLAY GALLERY

ユーザーマニュアル

J7265

第2版 第1刷

2012年3月

Copyright © 2012 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS) の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

以下の場合には、保証やサービスを受けることができません。

- (1) ASUSが明記した方法以外で、修理、改造、交換した場合。
- (2) 製品のシリアル番号が読むことができない状態である場合。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証もいたしません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害（利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む）に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、予告なしに内容は変更されることがあり、この変更について ASUS はいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容について、ASUS は責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

もくじ

もくじ	iii
安全に関する情報	vi
警告	vi
安全上のご注意	vii
このマニュアルについて	viii

Chapter 1 ご使用の前に

ようこそ	1-1
パッケージの内容	1-1
仕様一覧	1-2
システム条件	1-3
O!Play GALLERYメディアプレーヤーの各部の説明	1-3
フロントパネル	1-3
バックパネル	1-5
リモコン	1-6
O!Play GALLERYメディアプレーヤーを使用する前に	1-9
ハードディスクドライブを取り付ける	1-9
電源アダプターを接続する	1-11
各種デバイスを接続する	1-11
初めて使用する	1-13

Chapter 2 ネットワークのセットアップと各種サービス

ネットワークに接続する	2-1
有線LAN接続	2-1
DHCP IPを使用する (ルーターを使用したネットワーク)	2-1
無線LAN接続	2-8
プロキシサーバー接続を使用する	2-9
ネットワーク経由でファイルを共有する	2-10
Windows® XP OS環境でファイルを共有する	2-10
Windows® Vista OS環境でファイルを共有する	2-11
Windows® 7 OS環境でファイルを共有する	2-13
Mac OS X 10.5.xx環境でファイルを共有する	2-15
Linux OS環境でファイルの共有を行う	2-16

Chapter 3 O!PLAY GALLERYメディアプレーヤーを使用する

ホームスクリーン	3-1
O!PLAY GALLERYの設定	3-2

ムービーを再生する	3-3
関連するリモコンのボタン	3-3
ムービーを再生する	3-4
ムービーの再生設定	3-5
音楽を再生する	3-5
音楽ファイルを再生する	3-6
オーディオ再生設定を行う	3-7
音楽再生リストを作成する	3-8
My Lifeで画像/ビデオを管理する	3-9
画像/ビデオの再生リストを作成する	3-9
画像の参照	3-10
スライドショーモードで画像を参照する	3-11
画像の再生設定	3-11
ビデオの再生	3-12
ビデオの再生設定	3-13
オンラインメディアのストリーミング	3-14
Netflix からのオンラインストリーミング	3-15
ファイルの管理	3-16
ファイル/フォルダーのインポート	3-16
ファイル/フォルダーの名前変更	3-17
iPod または iPhone を再生する	3-17
 Chapter 4 トラブルシューティング	
トラブルシューティング	4-1
ディスプレイ	4-1
オーディオ	4-3
USBストレージデバイス	4-4
リモコン	4-4
ファームウェアの更新	4-4
有線/無線LAN接続、インターネット接続	4-5
オペレーション/機能上のエラー	4-6
追加情報	4-7
一般的なエラーメッセージ	4-7

Chapter 5 付録

ご注意	A-1
REACH	A-1
Federal Communications Commission Statement	A-1
Canadian Department of Communications Statement	A-2
GNU General Public License	A-2
Licensing information	A-2
ASUS コンタクトインフォメーション	A-8

安全に関する情報



お手入れの際は乾いた布をご使用ください。



本機は安定した場所に設置してください。ケースが破損した場合は、修理をご依頼ください。修理はASUS (以後、「弊社」とも記載) コールセンターにご相談ください。



本機を液体の近くで使用しないでください。また、水のかかる場所や湿気の多い場所で本機を使用しないでください。



動作可能な温度環境は室温 5°C (41°F) ~ 35°C (95°F) です。



熱を発する熱源のそばで本機を使用しないでください。



定格電圧/電流は12VDC、3Aです。



本機は電気製品または電子装置であり、地域のゴミと一緒に捨てられません。また、本機のコンポーネントはリサイクル性を考慮した設計を採用しております。廃棄の際は地域の条例等の定める区分に従ってください。

警告

	<p>CAUTION RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN</p>	
<p>この標示は、製品のケース内に、感電に十分な非絶縁電圧が存在することを警告するものです。</p>	<p>感電の危険性を下げるため、バックパネルカバーを取り外さないでください。本体内部にはユーザーが交換可能なパーツは含まれていません。修理及びパーツ交換の際は、弊社公認のサポートセンターにご相談ください。</p>	<p>この標示は、オペレーションとメンテナンスに関する重要な指示を示すもので、文字表記による警告内容が本機に添付されています。</p>



- 製造元指定のバッテリー以外を使用された場合、爆発や液漏れ等の恐れがあります。製造元指定のバッテリーをご使用ください。
- 使用済みバッテリーを廃棄する際は、お住まいの地域の区分、条例等の指示に従って廃棄してください。

安全上のご注意

1. まずはじめに、本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に本マニュアルをよくお読みください。
2. 本マニュアル記載の指示内容を守ってください。
3. 全ての警告内容にご留意ください。
4. 全ての指示に従ってください。
5. 本機を液体の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は乾いた布をご使用ください。
7. 通気孔を塞がないでください。製造元の指示に従ってセットアップしてください。
8. 熱を発する熱源のそばで本機を使用しないでください。
9. 分極プラグ及び接地プラグは安全を考慮した設計がされています。正しい使用方法でご使用ください。分極プラグには幅の異なる2枚のブレードが付いています。接地プラグには、2枚のブレードと接地用の突起が1本付いています。幅の広いブレードまたは接地用の突起は安全を考慮した設計がされています。付属のプラグがコンセントに挿入できない場合は、交換が必要となります。交換の際は専門の技術者にご相談ください。
10. 電源コードを踏まないでください。また電源コードに物を乗せたり、挟んだりしないでください。破損の原因となります。電源コードのプラグ部分とソケット部分、本機に直接接続されている部分は破損しやすい部分です。取り扱いには十分ご注意ください。
11. 製造元指定の付属品・アクセサリのみをご使用ください。
12. 雷の発生時、または長期間本機を使用しないときはプラグを抜いてください。
13. 修理やメンテナンスの際は弊社サポートセンターにご相談ください。以下のような問題が発生した場合は電源コードを抜き、公認の販売代理店あるいはサポートセンターにご相談ください。
電源コード・プラグが破損した／システム内部に物体や液体が入った／本機に液体がかかった／本機が正常に動作しない／本機が落下した等。



License notice and trademark acknowledgement for Dolby TrueHD/Digital Plus

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.



License notice and trademark acknowledgement for DTS

Manufactured under license under US Patent #: 5,451,942; 5,956,674; 5,974, 380; 5,978,762; 6,487,535 & other US and worldwide patents issued & pending. DTS and DTS 2.0 + Digital Out are registered trademarks and DTS logos and symbol are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2008 DTS, Inc. All Rights Reserved.

このマニュアルについて

本マニュアルは以下のChapter から構成されています。

- **Chapter 1: ご使用の前に**
本機の基本的な情報を記載しています。
- **Chapter 2: ネットワークのセットアップと各種サービス**
本機とホーム/LANネットワークとの接続方法について記載しています。
- **Chapter 3: ASUS O!Play GALLERYメディアプレーヤーを使用する**
本機の使用方法を記載しています。
- **Chapter 4: トラブルシューティング**
良く質問される問題とその解決方法を記載しています。
- **Chapter 5: 付録**
各種条例等 (原文) を記載しています。

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱い頂くために以下の表記を参考にしてください。



危険/警告：本製品を取扱う上で、人体への危険を避けるための情報です。



注意：本製品を取扱う上で、コンポーネントへの損害を避けるための情報です。



重要：作業を完了させるために、従う必要がある指示です。



注記：作業を完了させる上でのヒントと追加情報です。

詳細情報

本書に記載できなかった最新の情報は以下で入手することができます。また、添付ソフトウェアの最新版があります。必要に応じてご利用ください。

1. ASUSサポートサイト (<http://support.asus.com/>)

最新のファームウェア、ドライバー、ユーティリティ等のダウンロードが可能です。

2. ASUSフォーラム (<http://vip.asus.com/forum/>)

最新ニュース、製品情報等を公開しております。

3. 追加ドキュメント

パッケージ内容によっては、追加のドキュメントが同梱されている場合があります。注意事項や購入店・販売店などが追加した最新情報などです。これらは、本書がサポートする範囲には含まれていません。

[illegible]

Chapter 1

ご使用の前に

ようこそ

この度は本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

本機はUPnP機能により、ポータブルUSB/eSATA記憶装置、3.5インチハードディスクドライブ、メモリーカード内のデジタルメディアファイルを、TVやHDMI 接続で表示可能なディスプレイで再生することができます。またネットワーク経由でのファイルの再生も可能です。

パッケージの内容

		
O!Play Gallery メディアプレーヤー	電源コード	ACアダプター
		
iPod 接続ケーブル	リモコン (単四電池付き)	HDD電源/信号ケーブル
		
HDDブラケットとネジ	サポートCD (ユーザーマニュアル)	クイックスタートガイド



付属品が足りないときや破損しているときは、お手数ですが販売店様にご連絡ください。

仕様一覧

無線LAN規格	WiFi 802.11b/g/n
サポートするビデオ形式	MPEG1/2/4、H.264、VC-1、RM/RMVB
サポートするビデオファイル拡張子	MP4、MOV、Xvid、AVI、ASF、WMV、MKV、FLV、TS、M2TS、DAT、MPG、VOB、MTS、ISO、TRP
サポートするオーディオ形式	MP3、WAV、AAC、OGG、FLAC、AIFF、Dolby Digital、DTS Digital Surround、ID3 Tag、Dolby TrueHD、Dolby Digital Plus
サポートする画像形式	JPEG、BMP、PNG、GIF、TIFF
サポートする字幕ファイル	SRT、SUB、SMI、SSA、TXT
サポートするファイルシステム	FAT、NTFS、HFS+、FAT32
I/Oポート	電源 (DC) 入力× 1
	iPod/iPhone ポート× 1
	USB 2.0 ポート×2
	USB 3.0 Type-Bポート× 1
	eSATA/USBコンボポート× 1
	LANポート (10/100Mbps) × 1
	HDMI ポート× 1
	光デジタル (S/PDIF) ポート× 1
	同軸デジタル (S/PDIF) ポート× 1
	CFカードリーダー× 1
	SD/MMCカードリーダー× 1
	MS/MS-Duo カードリーダー× 1
サイズ	幅×奥行き×高:230.0mm×178.0mm×60.5mm
	重さ:720g
電源 (定格)	12VDC、3A
消費電力	10W



製品改善のため、仕様は予告なく変更することがあります。

システム条件

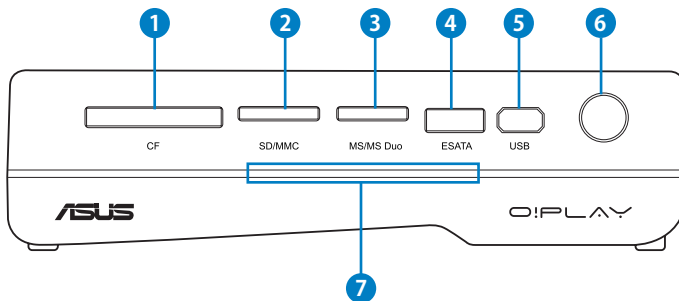
- HD TV、HDMI 端子搭載テレビ、HDMI モニター
- 記憶装置 (USBフラッシュドライブ / USB HDD/ eSATAフラッシュドライブ/ eSATA HDD/ 3.5インチ HDD)
- メモリーカード (SD/MMC、CF、MS/MS-Duo カード)
- RJ-45ケーブル (LANケーブル) : ホームネットワーク、オフィスネットワークへの接続用 (オプション)



本機をHD TVまたはHDMI モニターに接続する際は、HDMI ケーブルをご使用ください。

O!Play GALLERYメディアプレーヤーの各部の説明

フロントパネル



- | | |
|---|--|
| 1 | CFカードスロット
CFカードをこのスロットに入れます。本機は 64GB CF v4.1をサポートしています。 |
| 2 | SD/MMCカードスロット
SD/MMCカードをこのスロットに入れます。本機は32GBまでのSDHCと2GBまでのMMCをサポートしています。 |
| 3 | MS/MS-Duo カードスロット
MS/MS-Duo カードをこのスロットに入れます。本機は 128MBまでのメモリースティックと、32GBまでのメモリースティックPro をサポートしています。 |
| 4 | eSATA/USBコンボポート
eSATA及びUSB2.0に対応したデバイス (外付けハードドライブ等) を接続します。 |

5 **USB 2.0ポート**
USB 2.0デバイスを接続します。

6 **IR (赤外線) レシーバー**
リモコンからの信号を受信します。

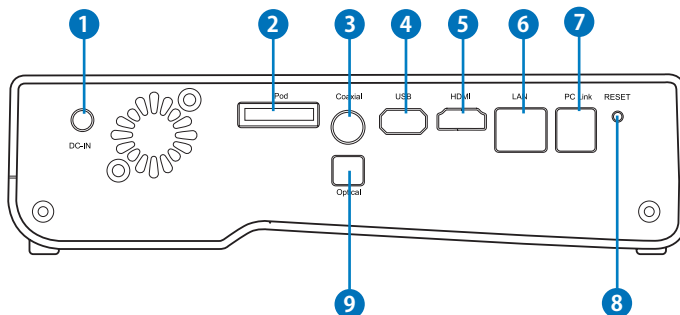
LEDインジケーター
本機の状態を次のように表示します。

7	LED	表示	状態
	電源	OFF	本機の電源はOFFです。
		オレンジ	本機はスリープモードです。
		ブルー	本機の電源はONで、無線LAN接続が利用可能です。
		パープル	本機の電源のON/OFFを切り替えています。
		グリーン	本機の電源はONですが、無線LAN接続が利用できない状態です。



本機のIRレシーバーとリモコンの間に障害となるものがないことを確認してください。通信対象との間に障害物がある状態では、本機はリモコン信号を受信できません。

バックパネル



1

電源(DC-IN)入力

電源アダプターを接続します。



電源アダプターを適切な入力定格 (12VDC 3A) の電源に接続してください。

2

iPod/iPhone ポート

iPod接続ケーブルで、iPodまたは iPhone をこのポートに接続します。

3

デジタルオーディオ 出力 (同軸デジタル)

同軸デジタルケーブルを接続し、本機を外付けHi-Fi オーディオシステムなどに接続します。

4

USB 2.0ポート

USB 2.0デバイスを接続します。

5

HDMI ポート

HDMI ケーブルを接続し、HD TVやHDMIモニター等のHDMI デバイスを接続します。

6

LAN (RJ-45) ポート

LANケーブルを接続し、本機をLAN (ローカルエリアネットワーク) に接続します。

7

USB 3.0 (Type-B)

USB 3.0 デバイスを接続します。本機のUSB3.0ポートはType-Bコネクタです。

8

リセットボタン

ペン先等でこのボタンを押し、本機を工場出荷状態の初期設定値に戻すことができます。

9

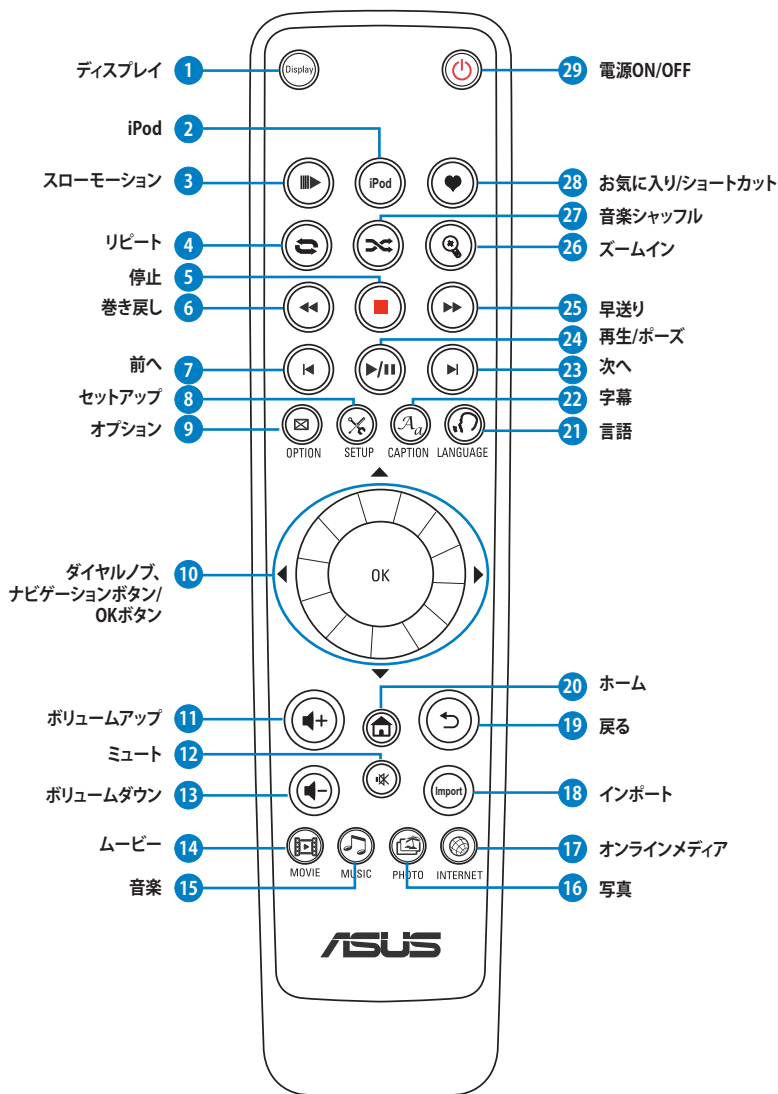
デジタルオーディオ出力 (光デジタル)











光デジタルケーブルで本機を外付けHi-Fi オーディオシステムに接続します。

リモコン
























リモコンを使用して、本機の電源切り替えや、メニューの表示、再生メディアの選択等の操作が可能です。



1		ディスプレイ ファイル名、ファイルタイプ、時間を表示します。
2		iPod iPodモードに切り替えます。
3		スローモーション 再生中の動画をスロー再生します。  を押すと、通常の再生モードに戻ります。
4		リピート 再生中の音楽、ムービー、画像ファイルを繰り返し再生します。
5		停止 再生中のメディアファイルを停止します。
6		巻き戻し 再生中のメディアファイルを巻き戻します。
7		前へ 1つ前のメディアファイルに戻ります。
8		セットアップ セットアップメニューを開きます。
9		オプション ムービー、音楽、写真の各種効果を選択します。

ダイヤルノブ/ナビゲーションボタン/OKボタン

		上下ボタンでサブメニュー内のメニューバーの操作を行います。 上下ボタンで数値を調節します。
10		左右ボタンでホームスクリーンのメインメニューの操作を行います。 ダイヤルノブを左右に回し、ホームスクリーンのメインメニューの操作を行います。 左右ボタンでサブメニュー内の項目の操作を行います。
	OK	「OK」を押して選択を確定します。
11		ボリュームアップ 音量を上げます。
12		ミュート オーディオ出力を無効にします。
13		ボリュームダウン 音量を下げます。

14		ムービー ムービーモードに切り替えます。
15		音楽 音楽モードに切り替えます。
16		写真 写真モードを起動します。
17		オンラインメディア オンラインメディアモードを起動します。
18		インポート 音楽ファイル、画像ファイル、動画ファイルをインポートします。
19		戻る 前の画面に戻ります。
20		ホーム ホームメニューを表示します。
21		言語 再生中のビデオの言語を選択します。
22		字幕 字幕設定を変更します (色、フォントサイズ等)。
23		次へ 次のメディアファイルに進みます。
24		再生/一時停止 メディアファイルの再生/一時停止を切り替えます。
25		早送り 再生中のメディアファイルを早送りします。
26		ズームイン 画面表示を拡大します。
27		音楽シャッフル 記憶装置内の全ての音楽ファイルをグループ化し、ランダム再生を行います。
28		お気に入り/ショートカット お気に入り/ショートカットリストを表示します。
29		電源ON/OFF 本機の電源のON/OFFを切り替えます。

O!Play GALLERYメディアプレーヤーを使用する前に



本機の保証サービスをご利用される場合は、輸送中の事故を未然に防ぐため、ご購入時のパッケージに本製品を梱包してご送付ください。不適切な梱包に起因する故障や不具合には、保証サービスは適用されず、パーツの交換等にも応じかねます。予めご了承ください。

ハードディスクドライブを取り付ける

本機には3.5インチハードディスクドライブを取り付けることができます。



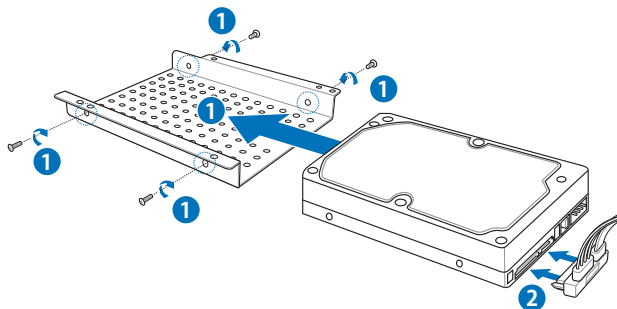
- ハードディスクドライブは別売りです。
- 新しいハードディスクドライブを本機に取り付けると、ハードディスクドライブのフォーマットを促す警告メッセージが現れます。画面上の指示に従いフォーマットを実行してください。
- システムが正常にシャットダウンされなかった場合、再起動とディスクチェックに時間がかかることがあります。チェックに要する時間は、ハードディスクドライブの容量によって異なります。
- 使用中のハードディスクドライブ内のデータを削除する場合は、「**セットアップ**」→「**システム**」→「**データベースを削除**」の順にクリックします。
- 弊社はハードディスクドライブの不適切な取り付けに起因する故障や不具合には、一切責任を負いません。
- 弊社はデータ破損やリカバリーには、一切責任を負いません。



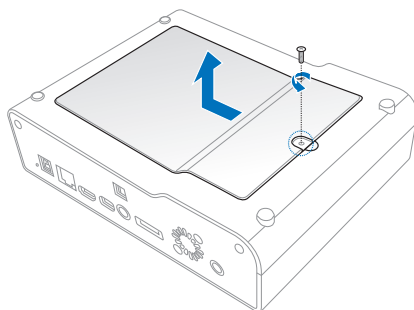
- 予期せぬディスクの故障等に備え、重要なデータは定期的にバックアップを取ることをお勧めします。
- ハードディスクドライブを長時間使用すると、高温になる場合があります。ご注意ください。

手順

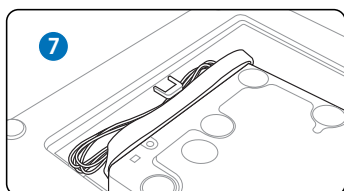
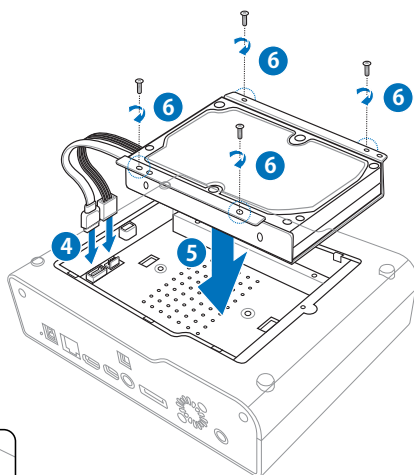
- ハードディスクドライブをHDDブラケットの上に取り付け、4本のネジで固定します。
- 付属のHDD電源ケーブルと信号ケーブルをハードディスクドライブに接続します。



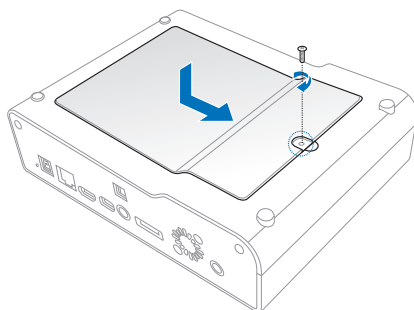
3. 本機の底面のカバーを開きます。



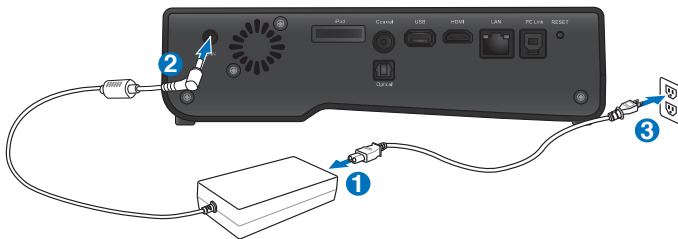
4. 手順2でハードディスクドライブに接続した付属のHDD電源ケーブルと信号ケーブルを本機に接続します。
5. HDDブラケットを本機に取り付けます。
6. HDDブラケットを4本のネジで本機に固定します。
7. HDD電源ケーブルと信号ケーブルを本機に収納します。



8. 本機の底面のカバーを閉じます。



電源アダプターを接続する



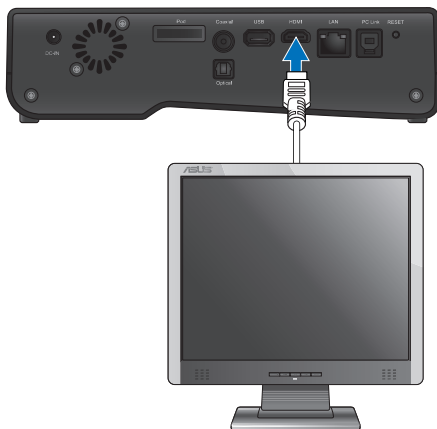
手順

1. 電源コードをACアダプターに接続します。
2. ACアダプターを本機バックパネルのDC-INポートに接続します。
3. ACアダプターに接続した電源コードを電源コンセントに接続します。

各種デバイスを接続する

手順

1. 次のいずれかの手順でディスプレイを本機に接続します。
 - HDMIケーブルで本機にHDTV、HDMI端子搭載テレビ、HDMI モニターを接続します。



HDMI ケーブルは別売りです。

2. 以下のいずれかの手順で記憶装置またはメモリーカードを本機に接続します。
- USB/eSATA記憶装置（ポータブルHDDやUSBフラッシュドライブ）をフロントパネルのUSBポートまたはUSB/eSATAコンボポートに接続します。



- メモリーカード（SD/MMC、CF、MS/MS-Duo カード等）を本機フロントパネルの適切なスロットに挿入します。



ネットワークコンピューターの共有フォルダからメディアファイルにアクセスすることも可能です。詳細は Chapter 2 セクション「**ネットワークに接続する**」をご参照ください。

3. オーディオシステムを使用する場合は、S/PDIFケーブルでオーディオシステムを本機に接続します。
4. HDTV、HDMI 端子搭載テレビ、HDMI モニターの電源をONにします。
5. HDTV、HDMI 端子搭載テレビ、HDMI モニターの表示モードを、ビデオモードまたはHDMIモードに設定します。



HDTV、HDMI 端子搭載テレビ、HDMI モニターに付属の取り扱い説明書等も合わせてお読みください。

初めて使用する

本機を初めてご使用になる場合は、基本設定を行う設定画面が表示されます。

手順

1. 本機とHDTV、HDMI 端子搭載テレビ、HDMI モニターの電源をONにします。
2. HDTV、HDMI 端子搭載テレビ、HDMI モニターの表示モードを、ビデオモードまたはHDMIモードに設定します。



HDTV、HDMI 端子搭載テレビ、HDMI モニターに付属の取り扱い説明書等も合わせてお読みください。

3. セットアップウィザードが表示されます。ウィザード上の指示に従い、セットアップを行ってください。



セットアップの操作には、付属のリモコンをご使用ください。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

Chapter 2

ネットワークのセットアップと各種サービス

ネットワークに接続する

有線/無線LAN接続により本機をネットワークに接続することで、ネットワーク/インターネットを介したファイルの共有や、オンラインメディアストリーミング等の利用が可能です。

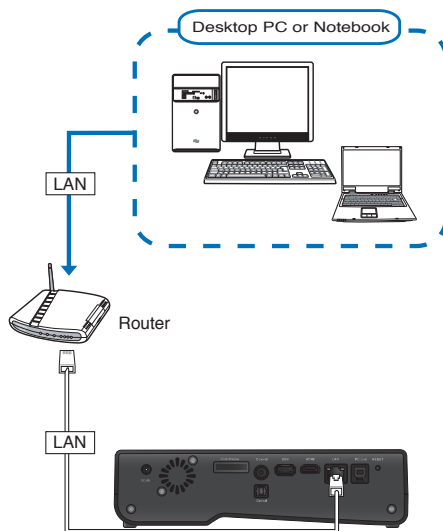


オンラインメディアストリーミングに関する詳細は、Chapter 3 のセクション「オンラインメディアのストリーミング」をご参照ください。

有線LAN接続

DHCP IPを使用する(ルーターを使用したネットワーク)

DHCP IPを使用すると、ルーターは自動的に IPアドレスを本機に割り当てることができます。



手順

1. LANケーブルの一端を本機バックパネルのLANポートに接続し、もう一方をルーターのLANポートに接続します。

2. コンピューターやその他必要なデバイスをルーターに接続します。



ルーターに付属の取扱説明書等も合わせてお読みください。

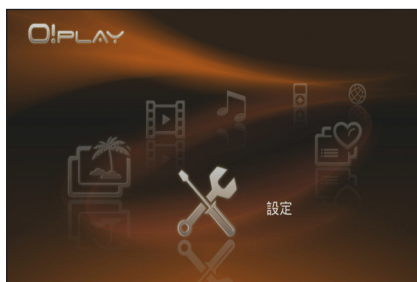
3. 必要なデバイスを本機に接続します。



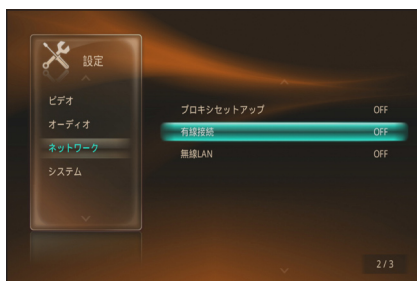
詳細はChapter 1 セクション「**各種デバイスを接続する**」をご参照ください。

4. ホームスクリーンから、左右ボタン◀/▶で「**設定**」を選択し、OKボタンを押します。

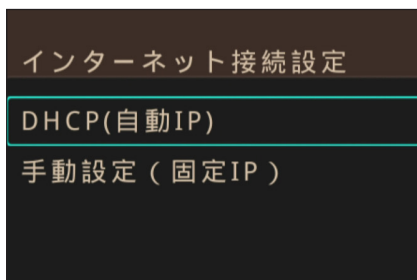
ⓧを押してもこのメニューが起動します。



5. 「**ネットワーク**」を選択し、OKボタンを押します。
6. 「**有線接続**」を選択し、OKボタンを押します。



7. 「**DHCP(自動IP)**」をセットアップとして選択します。ルーターのDHCPサーバーは自動的にIPアドレスを本機に割り当てます。



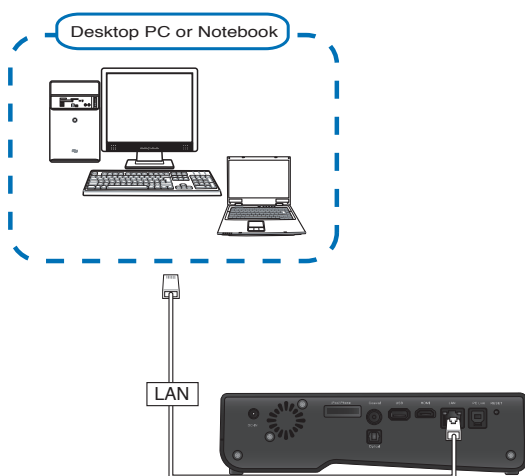
8. 「OK」を選択し、設定を保存します。



- オフィスネットワークに接続できない場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- ネットワーク上の共有ファイルにアクセスする場合は、コンピューター内のファイルがネットワーク上で共有できるように設定してください。詳細は本Chapterのセクション「ネットワーク経由でファイルを共有する」をご参照ください。

固定 IPを使用する(コンピューターに直接接続するネットワーク)

固定 IPを使用すると、本機を直接コンピューターに接続することができます。



手順

1. LANケーブルの一端を本機バックパネルのLANポートに接続し、もう一方をコンピューターに接続します。
2. 必要なデバイスを全て本機に接続します。

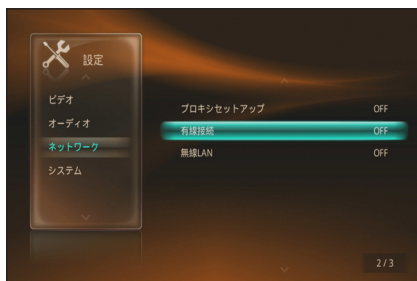


詳細はChapter 1 セクション「各種デバイスを接続する」をご参照ください。

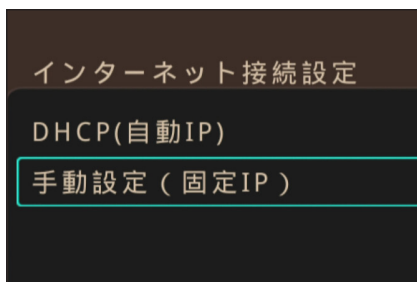
3. ホームスクリーンから左右ボタン◀/▶で「設定」を選択し、OKボタンを押します。
ⓧを押してもこのメニューが起動します。



4. 「ネットワーク」を選択し、OKボタンを押します。
5. 「有線接続」を選択し、OKボタンを押します。



6. 「手動設定(固定IP)」を選択し、OKボタンを押します。
7. IPアドレス設定画面から、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSアドレスをそれぞれ入力します。



インターネットサービスプロバイダから割り当てられているIPアドレスやサブネットマスクについては、ご契約のインターネットサービスプロバイダにご確認ください。

8. 「OK」を選択し、設定を保存します。
9. コンピューターでも、本機と同じサブネットマスクを入力する必要があります。



コンピューターのIPアドレスが他のデバイスで使用されていないことをご確認ください。詳細は次のセクション「コンピューターのIPアドレス設定」をご参照ください。

コンピューターのIPアドレス設定

固定 IP を使用して本機にアクセスする場合は、コンピューター上で TCP/IP の設定を行う必要があります。

コンピューターにインストールされている OS に応じ、以下の手順で設定を行います。

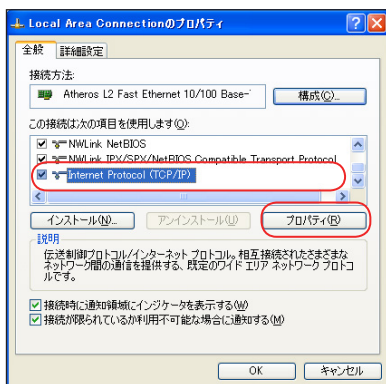


規定の IP 設定を使用します。

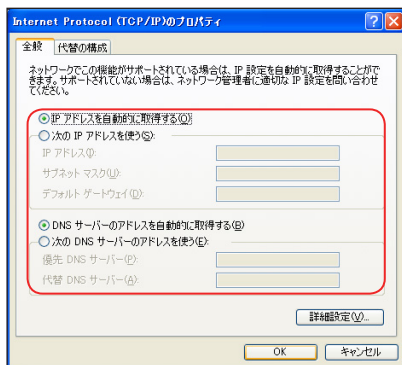
- **IPアドレス:** 192.168.0.xxx
「xxx」は 2 ~ 254 の任意の数です。他のデバイスの IP アドレスと重複しないよう設定します。
- **サブネットマスク:** 255.255.255.0 (本機と同じ値に設定します)

Windows® XP OS

1. 「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワーク接続」の順にクリックし、「**Local Area Connection (ローカルエリア接続)**」を右クリックし、「**プロパティ**」をクリックします。
2. 「**インターネットプロトコル (TCP/IP)**」を選択し、「**プロパティ**」をクリックします。

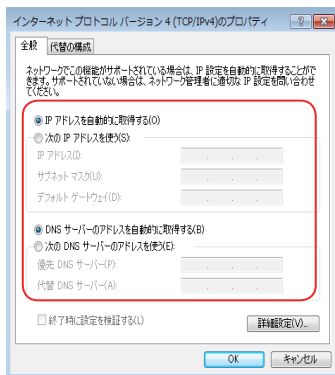
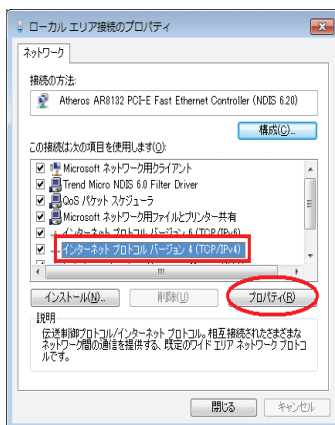


3. 「**次の IP アドレスを使う**」を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを入力します。
4. 「**OK**」をクリックします。



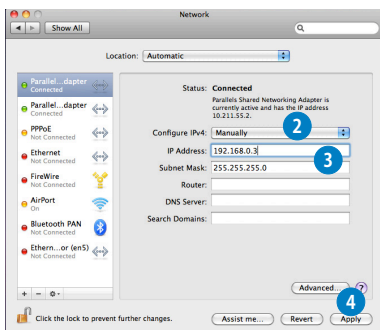
Windows® Vista/7 OS

1. 「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワークと共有センター」の順にクリックし、「ローカルエリア接続」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
2. 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
3. 「次のIPアドレスを使う」を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを入力します。
4. 終了したら「OK」をクリックします。



Mac OS X 10.5.xx

1. 「Apple」メニューから「System Preferences (システム環境設定)」→「Network (ネットワーク)」の順に選択します。
2. 「Manually (手動)」を選択します。
3. IPアドレスとサブネットマスクを入力します。
4. 「Apply (適用)」を選択します。



コンピューターの IP アドレスをチェックする

Windows® OSでコンピューターの IP アドレスをチェックすることができます。

1. 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
2. ファイル名を指定して実行ウィンドウで「cmd」または「command」と入力し、「OK」をクリックします。
3. MS DOS ウィンドウが表示されますので、「ipconfig」と入力し、<Enter> キーを押すと、コンピューターの IP アドレスが表示されます。

無線LAN接続

手順

1. 無線LANネットワーク構築に必要なデバイスを全て接続します。



- 無線ルーターに付属の取扱説明書等もご参照ください。
- 無線LAN接続の構築にはコンピューターに IEEE 802.11b/g/n 対応の無線 LAN アダプターが必要です。
- 無線LAN機能搭載のコンピューターをご使用の場合は、コンピューターに付属の取扱説明書等をご参照ください。

2. ホームスクリーンから左右ボタン◀/▶で「設定」を選択し、リモコンのOKボタンを押します。

ⓧを押してもこのメニューが起動します。

3. 「ネットワーク」を選択し、OKボタンを押します。
4. 「有線接続」を選択し、OKボタンを押します。
5. リスト(接続 1 ~ 接続 3)から1つ選択し、接続プロファイルを作成し、OKボタンを押します。
6. 次の接続モデルからいずれかを選択します。

- **自動インフラストラクチャ (AP):**本機が利用可能な無線LANネットワークを検索しリスト表示します。リストから使用する無線LANネットワークを選択し、必要に応じ、ネットワークパスキーを入力します。
- **手動インフラストラクチャ (AP):**手動でSSID (ネットワーク名) や暗号化方式等の無線LANネットワーク設定を行います。
- **Peer to Peer (アドホック):**無線ルーターを使用せずにコンピューターと本機を直接接続します。一時的な無線ネットワークの構築が可能です。



- Windows® Wireless Zero Configuration (Windows® XP) または WLAN AutoConfig (Windows® Vista / 7) を使用して WLAN アダプターの設定を行います。
- 無線LANアダプター独自のユーティリティを無効にしてください。詳細は無線LANアダプターに付属の取扱説明書等も合わせてお読みください。



- **Peer to Peer (アドホック) モード**に設定する前に、次の項目をご確認ください。
 - コンピューターの内蔵無線LAN機能、または無線LANアダプターが正常に動作していること。
 - ファイアウォールが無効になっていること。
- 無線LAN接続でネットワークに接続した状態で、特定のHD動画ファイルのストリーミングを行うと、タイムラグや伝送遅延の変動（ジッタ）が生じることがあります。これは、通常の家庭用の無線ルーターの対応可能な帯域が十分でないことが原因です。HD動画ファイルのストリーミングには、有線LAN接続（10/100 LAN/RJ-45ケーブル）のご使用をお勧めします。

プロキシサーバー接続を使用する

本機はプロキシサーバーに接続することも可能です。

手順

1. コンピューター、本機、その他必要なデバイスを有線/無線LAN接続でネットワークに接続します。



無線/有線LAN接続の詳細は、前のセクションをご参照ください。

2. ホームスクリーンから左右ボタン◀/▶で「設定」を選択しリモコンのOKボタンを押します。
ⓧを押してもこのメニューが起動します。
3. 「ネットワーク」を選択し、OKボタンを押します。
4. 「プロキシセットアップ」を選択し、OKボタンを押します。
5. 「ホスト」の欄にプロキシサーバーのIPアドレスを入力します。
6. 「ポート」の欄にプロキシサーバーのポートナンバーを入力します。
7. 必要に応じて、プロキシサーバーのユーザー名とパスワードを入力します。



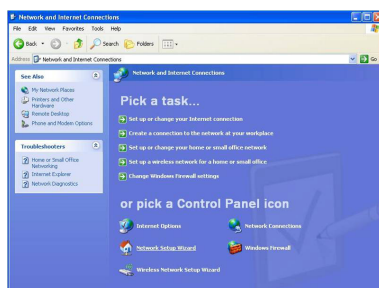
ネットワークへの詳細な接続方法や設定については、ご契約のインターネットサービスプロバイダやご利用のルーターのメーカーにお問い合わせください。

ネットワーク経由でファイルを共有する

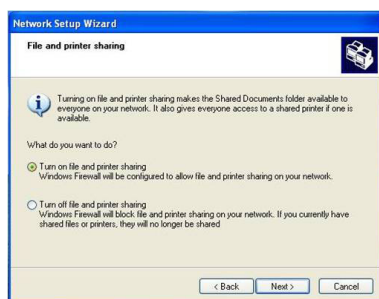
Windows® XP OS環境でファイルを共有する

手順

1. 「Start(スタート)」→「Control Panel(コントロールパネル)」→「Network and Internet Connection(ネットワークとインターネット接続)」→「Network Setup Wizard(ネットワークのセットアップウィザード)」の順に選択します。

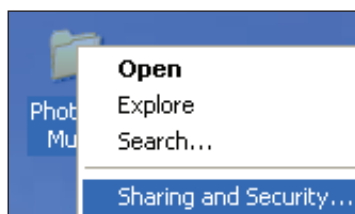



2. 「Turn on file and printer sharing(ファイルとプリンターの共有を有効にする)」を選択し、次へ進みます。
3. 完了したら「Finish(完了、または次へ)」を選択します。

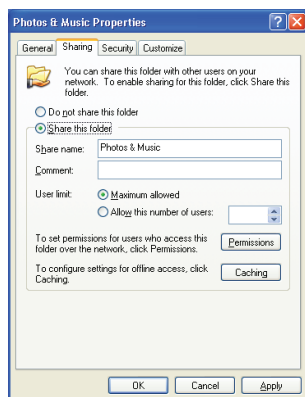


Windows® XP OS環境でファイルを共有する

1. コンピューター上で共有したいファイルを含むフォルダーを選択します。
2. 選択したフォルダー上を右クリックし、「Sharing and Security(共有とセキュリティ)」を選択します。



3. 「Share this folder (ネットワーク上でこのフォルダーを共有する)」にチェックを入れます。
ネットワークユーザーにアクセス許可を設定する場合は、「Permissions (アクセス許可)」をクリックし、「Apply (適用)」をクリックします。
4. 共有設定がされたフォルダーのアイコンはアイコンの下に手のマークが表示されます。



Windows® Vista OS環境でファイルを共有する

次のいずれかの手順で設定を行います。

- ・ コンピューター上のフォルダー内のファイルを共有する
- ・ パブリックフォルダー内のファイルを共有する

コンピューター上のフォルダー内のファイルを共有する


手順

1. コンピューター上で共有したいファイルを含むフォルダーを選択します。
2. 選択したフォルダー上を右クリックし、「共有」を選択します。
3. 「ファイルの共有」画面からファイルの共有を行うユーザーをリストから選択し、「追加」をクリックします。
4. ネットワークユーザーにアクセス許可を設定する場合は、「アクセス許可のレベル」のリストからレベルを選択します。
 - ・ **閲覧者**: このユーザーの共有ファイルへのアクセスを閲覧のみに制限します。共有ファイルの追加や変更、削除はできません。
 - ・ **投稿者**: このユーザーに共有ファイルの閲覧と追加を許可します。このユーザーは、このユーザー自身が追加した共有ファイルに限り、変更と削除が可能です。
 - ・ **共有所有者**: このユーザーに共有ファイルの閲覧、追加、変更、削除を許可します。
5. 終了したら「共有」をクリックします。

パブリックフォルダー内のファイルを共有する

パブリックフォルダーを使用すれば、コンピューターを使用する他のユーザーまたはネットワーク上のユーザーとのファイル共有が可能です。

手順


1.  → 「ドキュメント」の順にクリックします。
2. ナビゲーションパネルの「お気に入りリンク」から、「パブリック」を選択し、パブリックフォルダー内のサブフォルダーに共有したいファイル/フォルダーを入れます。




パブリックフォルダー内のファイル/フォルダーへのアクセスを制限する場合は、次の記載をご参照ください。

パブリックフォルダー内のファイル/フォルダーへのアクセスを制限する

お使いのコンピューターでパスワード保護共有機能を有効にしてパブリックフォルダーへのアクセスを制限できます。他のユーザーがアクセスするには、ユーザーアカウントとパスワードの入力が必要となります。

1.  → 「コントロールパネル」→ 「ネットワークとインターネット」→ 「ネットワークと共有センター」の順にクリックし、ネットワークと共有センターを開きます。
2. 「パスワード保護共有」ドロップダウンリストから、「パスワード保護の共有を有効にする」を選択します。
3. 終了したら「適用」を選択します。

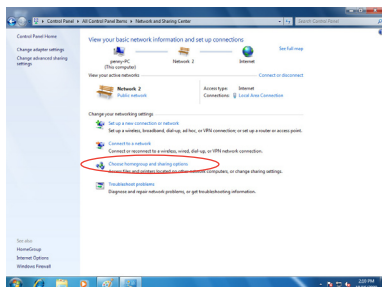
パブリックフォルダーへのユーザーアクセスレベルを設定する

1.  → 「コントロールパネル」→ 「ネットワークとインターネット」→ 「ネットワークと共有センター」の順にクリックし、ネットワークと共有センターを開きます。
2. 「パブリックフォルダー共有」ドロップダウンリストから、次のいずれかの手順でアクセスレベルを設定します。
 - 共有を有効にして、ネットワークアクセスがある場合はファイルを開くことができるようにする
 - 共有を有効にして、ネットワークアクセスがある場合はファイルを開く、変更する、作成することができるようにする
 - 共有を無効にする（このコンピュータにログオンしている場合はこのフォルダーにアクセスできます）
3. 終了したら「適用」を選択します。

Windows® 7 OS環境でファイルを共有する

手順

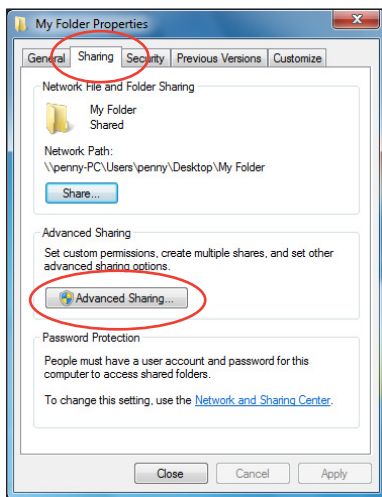
1. 「Start(スタート)」→「Control Panel(コントロールパネル)」→「Network and Internet(ネットワークとインターネット)」→「Network and Sharing Center(ネットワークと共有センター)」→「Choose homegroup and sharing options(ホームグループ共有に関するオプションを選択する)」→「Change advanced sharing settings....(共有の詳細設定の変更)」の順にクリックします。



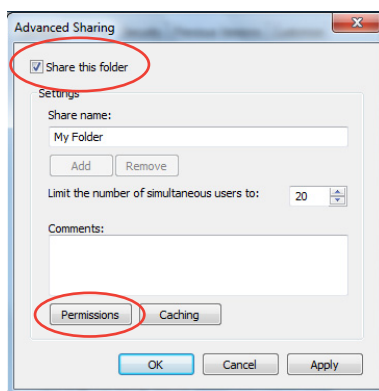
2. 次のオプションが正しく選択されているかをご確認ください。
 - ・ Turn on network discovery (ネットワーク探索を有効にする)
 - ・ Turn on file and printer sharing (ファイルとプリンターの共有を有効にする)
 - ・ Media streaming is off(メディアストリーミングの無効)
 - ・ Allow Windows to manage homegroup connections (recommended) (Windows でホームグループ接続を管理できるようにする)

Windows® 7 OS環境でファイルを共有する

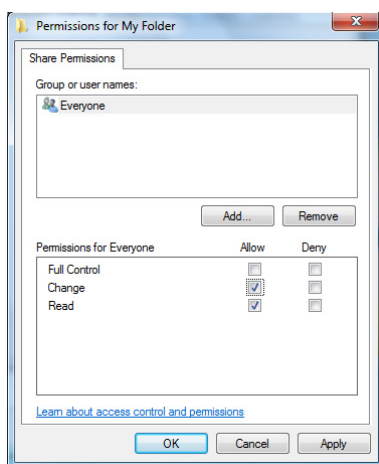
1. お使いのコンピューターで、コンピューター上で共有したいファイルを含むフォルダーを選択します。
2. 選択したフォルダー上を右クリックし、「Property(プロパティ)」を選択します。
3. 「Sharing(共有)」タブ→「Advanced Sharing... (詳細な共有)」の順にクリックします。



4. 「Share this folder(このフォルダーを共有する)」にチェックを入れ、「Permissions(アクセス許可)」をクリックします。



5. ファイルの共有を許可するネットワークユーザーを選択し、アクセスコントロールオプションを設定します。



Mac OS X 10.5.xx環境でファイルを共有する

手順

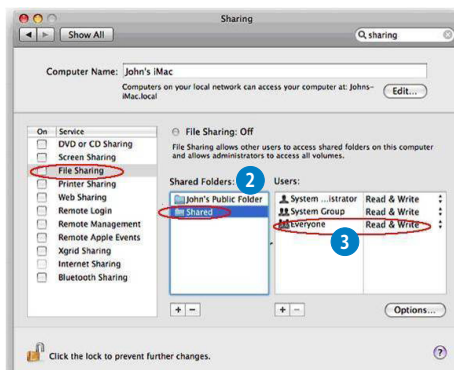
1. 「Apple」メニューから「System Preferences (システム環境設定)」→「Sharing (共有)」の順にクリックします。

2. 「+ アイコン」をクリックし、利用可能なフォルダーを表示します。続いて共有したいフォルダーを選択します。

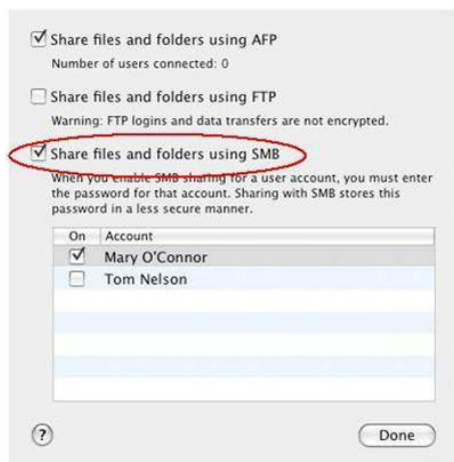
3. ユーザーアカウント「Everyone」を追加します。

4. 他のフォルダーの共有設定も手順 2-3を行い設定します。

5. 完了したら「Options...」をクリックします。




6. 「Share files and folders using SMB」にチェックを入れ、「Done」をクリックします。



Linux OS環境でファイルの共有を行う

手順

1. コンピューター上のファイル共有を行うファイルを含むフォルダーを選択します。
2. そのフォルダーを選択し、「Sharing」→「Windows Sharing」の順にクリックします。
3. **Windows** 共有タブから、次の各項目にそれぞれチェックを入れます。
「Share this item and its contents」、「Allow all users」、「Share Enabled」
4. 「OK」をクリックします。フォルダーアイコン  が表示され、ネットワーク経由のファイル共有が可能になりました。

Chapter 3

O!PLAY GALLERYメディアプレーヤーを使用する

ホームスクリーン

ホームスクリーンには、次のメインオプションが表示されます。

ムービー、音楽、My Life、iPod、設定、お気に入り、ファイル マネージャー、インターネット



- **ファイル マネージャー**では、記憶装置内とネットワークに保存した全てのメディア ファイルを閲覧することができます。
- ホームスクリーンのメインメニューの操作は、ダイヤルノブを左右に回すか、リモコンの左右ボタン◀/▶を押して行います。

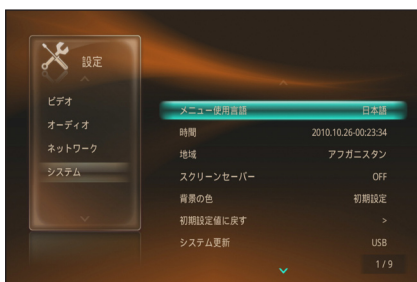
O!PLAY GALLERYの設定

手順

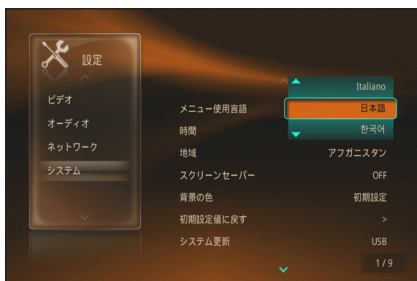
1. ホームスクリーンから左右ボタン◀/▶で「設定」を選択し、リモコンのOKボタンを押します。



2. 上下ボタン▲/▼でビデオ、オーディオ、ネットワーク、システムのいずれかを選択し、右ボタン▶またはOKボタンを押して、設定項目を選択します。
3. 上下ボタン▲/▼で設定する項目を選択します。























4. 右ボタン▶またはOKボタンでサブメニューを開き、上下ボタン▲/▼で設定を選択します。
5. OKボタンを押して保存します。または⌂を押して設定をキャンセルします。



ムービーを再生する

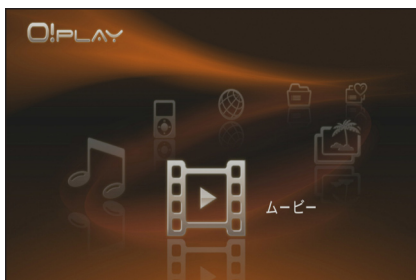
関連するリモコンのボタン

ボタン	機能
	ムービーモードに切り替えます。
	ビデオファイルのソース、ファイル名、ファイルフォーマット、経過時間を表示します。
	前の画面に戻ります。
	再生/ポーズを切り替えます。
	再生中のムービーをスロー再生します。  を押すと通常の再生モードに戻ります。
	巻き戻し再生します。ボタンを繰り返し押すと巻き戻し速度が次の順に変わります。(x1.5、x2、x4、x8、x16、x32、通常速度 [x1])
	早送り再生します。ボタンを繰り返し押すと早送り速度が次の順に変わります。(x1.5、x2、x4、x8、x16、x32、通常速度 [x1])
	再生を停止します。
	ビデオの再生設定を行います。
	音量を上げます。
	音量を下げます。
	前のビデオファイルに戻ります。
	次のビデオファイルにスキップします。
	字幕の設定を行います(色、フォントサイズ等)。
	再生中のビデオの言語を選択します。
	セットアップメニューを起動します。
	オーディオ出力を無効にします。
	ズームイン表示を行います。
	再生中のビデオの繰り返し再生を行います。

ムービーを再生する

手順

1. ホームスクリーンから、左右ボタン◀/▶で「ムービー」を選択し、リモコンのOKボタンを押します。



2. 上下ボタン▲/▼でムービーファイルのソースを選択し、OKボタンを押します。





ネットワーク経由でメディアファイルにアクセスするには、ファイルを保存したフォルダーが共有フォルダーに設定されている必要があります。詳細は Chapter 2 のセクション「ネットワーク経由でファイルを共有する」をご参照ください。

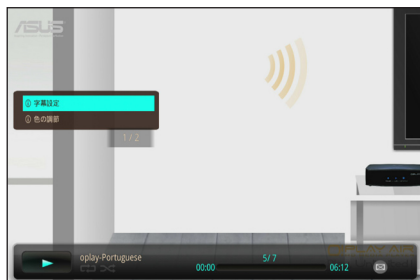
3. 上下ボタン▲/▼で再生するビデオを選択し、OKボタンまたはⓂで再生を開始します。Ⓜを押すと、選択したファイルのインポートが行えます。

ムービーの再生設定

ビデオの再生設定メニューでは字幕や色の調整が可能です。









手順

1. 再生中に  を押して、ビデオ再生設定メニューを起動します。
2. 上下ボタン▲/▼で設定する機能を選択し、リモコンのOKボタンでサブメニューを開き選択を確定します。
3. 設定したいオプションを選択し、OKボタンを押して保存します。または  を押して設定をキャンセルします。










音楽を再生する

関連するリモコンのボタン

ボタン	機能
	音楽モードに切り替えます。
	音楽ファイルソース、ファイル名、フォーマット、経過時間を表示します。
	前の画面に戻ります。
	再生/ポーズを切り替えます。
	巻き戻し再生します。ボタンを繰り返し押すと巻き戻し速度が次の順に変わります。(x1.5、x2、x4、x8、x16、x32、通常速度[x1])
	早送り再生します。ボタンを繰り返し押すと早送り速度が次の順に変わります。(x1.5、x2、x4、x8、x16、x32、通常速度[x1])
	再生を停止します。
	ファイルのインポートを行います。


(次項へ)

ボタン	機能
	前の音楽ファイルに戻ります。
	次の音楽ファイルにスキップします。
	再生設定を行います。
	セットアップメニューを開きます。
	オーディオ出力を無効にします。
	記憶装置内の音楽ファイル全てをグループ化し、ランダム再生を行います。
	再生中の音楽の繰り返し再生を行います。

音楽ファイルを再生する

手順

1. ホームスクリーンで、左右ボタン▲/▼を押し、「音楽」を選択し、リモコンのOKボタンを押します。

を押してもこのモードが起動します。



2. 上下ボタン▲/▼で音楽ファイルのソースを選択し、OKボタンを押します。



ネットワーク経由でメディアファイルにアクセスするには、ファイルを保存したフォルダーが共有フォルダーに設定されている必要があります。詳細は Chapter 2 のセクション「ネットワーク経由でファイルを共有する」をご参照ください。

3. 上下ボタン▲/▼で再生するファイルを選択し、OKボタンまたは \odot を押して再生を始めます。 \odot を押すと、選択したファイルのインポートが行えます。



- \odot を押すと、記憶装置内の音楽ファイル全てをグループ化し、ランダム再生が可能です。
- \odot を押すと、再生中の音楽ファイルを繰り返し再生します。

オーディオ再生設定を行う

オーディオの各設定は設定メニューで行います。

手順

1. ホームスクリーンから、左右ボタン◀/▶で「設定」を選択し、リモコンのOKボタンを押します。

\otimes を押してもこのメニューを選択できます。

2. 「オーディオ」→「デジタル出力」の順にクリックし、OKボタンを押します。

3. 「デジタル出力」の設定は、次のいずれかのオプションを選択します。

- **LPCM**:HDTVを本機のHDMIポートに接続する場合、またはS/PDIFオーディオレシーバー用にこのモードを選択します。
- **RAW**:HDMI マルチチャンネルオーディオレシーバー、またはS/PDIFマルチチャンネルオーディオレシーバー用のオプションです。オーディオのRAWデータがデコード用にHDMI マルチチャンネルレシーバーまたはSPDIFマルチチャンネルレシーバーに送信されます。




音楽再生リストを作成する



再生リストの作成の前に、音楽ファイルを本機にインポートしてください。詳細は本マニュアル以降に記載のセクション「**ファイル/フォルダーのインポート**」をご参照ください。

手順

1. ホームスクリーンから、左右ボタン◀/▶で「**音楽**」を選択し、リモコンのOKボタンを押します。
を押してもこのモードが起動します。
2. 音楽メニューから「**プレイリスト**」→「**新しいプレイリスト**」の順にクリックします。
3. 再生リストの名前は、ナビゲーションボタンで仮想キーボードを操作して入力します。
4. 再生リストの名前を入力したら、仮想キーボードの**OK**ボタンを押して、再生リストの名前を確定します。
5. 以上の設定で、再生リストに音楽の追加ができるようになりました。





音楽再生リストに曲を追加する



曲を追加するには、まず音楽再生リストを作成する必要があります。

手順

1. ホームスクリーンから、左右ボタン◀/▶で「**音楽**」を選択し、リモコンのOKボタンを押します。を押してもこのモードが起動します。
2. 音楽メニューから、「**アーティスト**」または「**曲**」を選択します。本機に保存したアーティストと曲のリストが表示されます。
3. で選択し、OKボタンを押して再生リストに追加する曲を選択します。
4. 曲を追加する再生リストを選択します。
5. OKボタンを押して設定完了です。

My Lifeで画像/ビデオを管理する

My Life は画像やビデオをスライドショー形式で再生したり、またはBGM付きで再生できます。また画像/ビデオの再生設定や、タグ/評価/ショートカットの追加、アルバムや再生リストの作成ができる、便利なツールです。

画像/ビデオの再生リストを作成する



再生リストの作成の前に、画像またはビデオを本機にインポートしてください。詳細は本マニュアル以降に記載のセクション「**ファイル/フォルダーのインポート**」をご参照ください。

手順

1. ホームスクリーンから、左右ボタン◀/▶で「**My Life**」を選択し、リモコンのOKボタンを押します。Ⓢを押してもこのモードが起動します。
2. My Life メニューから「**プレイリスト**」→「**新しいプレイリスト**」の順に選択します。
3. 再生リストの名前は、ナビゲーションボタンで仮想キーボードを操作して入力します。
4. 再生リストの名前を入力したら、仮想キーボードの**OK**ボタンを押して、再生リストの名前を確定します。
5. 以上の設定で、再生リストに音楽/ビデオの追加ができるようになりました。

画像/ビデオを再生リストに追加する



ファイルを追加するには、まず画像/ビデオ再生リストを作成する必要があります。

手順

1. ホームスクリーンから、左右ボタン◀/▶で「**My Life**」を選択し、リモコンのOKボタンを押します。Ⓢを押してもこのモードが起動します。
2. 「**カレンダー**」から再生リストに追加する画像/ビデオを含むフォルダーを選択します。
3. Ⓢで選択し、OKボタンを押して再生リストに追加する曲を選択します。
4. 曲を追加する再生リストを選択します。
5. OKボタンを押して設定完了です。

画像の参照

関連するリモコンのボタン

ボタン	機能
	My Life モードを起動します。
	画像のファイルソース、作成日時、解像度を表示します。
	画像をスライドショーで表示します。もう1度押すと一時停止します。
	ソースフォルダーに戻ります。
	画像再生の各設定を行います。
	スライドショーのBGMの音量を上げます。
	スライドショーのBGMの音量を下げます。
	前の画像に戻ります。
	次の画像にスキップします。
	オーディオ出力を無効にします。
	ファイルをインポートします。
	ダイヤルノブの上ボタンで画像を時計回りに回転します。
	ダイヤルノブの下ボタンで画像を半時計回りに回転します。
OK	ダイヤルノブのOKを押すと画像のミラーイメージを作成します。

スライドショーモードで画像を参照する

手順

1. ホームスクリーンから、左右ボタン◀/▶で「My Life」を選択し、リモコンのOKボタンを押します。Ⓢを押してもこのモードが起動します。
2. 上下ボタン▲/▼で画像ソースを探し、OKボタンを押します。



ネットワーク経由でメディアファイルにアクセスするには、ファイルを含むフォルダーが共有フォルダーに設定してある必要があります。詳細は Chapter 2のセクション「ネットワーク経由でファイルを共有する」をご参照ください。

3. Ⓜを押し、画像をスライドショーで参照します。Ⓜをもう1度押すと、スライドショーは一時停止します。Ⓚを押すと、ソースフォルダーに戻ります。Ⓜを押すと選択したファイルをインポートできます。

画像の再生設定

このメニューでは、画像再生に関する各種設定が可能です。
















スライドショーの間隔、トランジション効果、音楽の設定

手順

1. スライドショーの再生中にⓈを押し、「スライドショーの間隔」、「トランジション効果」、「音楽選択」のいずれかを選択します。
2. 上下ボタン▲/▼でスライドショーの間隔、トランジション効果、音楽を選択します。
3. Ⓢを再度押して、再生オプションメニューを非表示にします。

ビデオの再生

関連するリモコンのボタン

ボタン	機能
	My Life モードを起動します。
	ビデオのファイルソース、ファイル名、ファイル形式、再生時間を表示します。
	前の画面に戻ります。
	再生/ポーズの切り替えを行います。
	巻き戻し再生します。ボタンを繰り返し押すと巻き戻し速度が次の順に変わります。(x1.5、x2、x4、x8、x16、x32、通常速度[x1])
	早送り再生します。ボタンを繰り返し押すと早送り速度が次の順に変わります。(x1.5、x2、x4、x8、x16、x32、通常速度[x1])
	再生を停止します。
	ビデオの再生設定を行います。
	音量を上げます。
	音量を下げます。
	前のビデオファイルに戻ります。
	次のビデオファイルにスキップします。
	ビデオ再生時の言語を選択します。
	ファイルをインポートします。
	オーディオ出力を無効にします。

ビデオの再生

手順

1. ホームスクリーンから、左右ボタン ◀/▶ で「My Life」を選択し、リモコンのOKボタンを押します。Ⓢを押してもこのモードが起動します。
2. 上下ボタン ▲/▼ でビデオソースを探し、OKボタンを押します。



ネットワーク経由でメディアファイルにアクセスするには、ファイルを含むフォルダーが共有フォルダーに設定してある必要があります。詳細は Chapter 2のセクション「ネットワーク経由でファイルを共有する」をご参照ください。

3. 上下ボタン ▲/▼ で再生するビデオを指定します。OKボタンまたはⓈを押して再生を開始します。Ⓜを押すと、選択したファイルをインポートできます。

ビデオの再生設定

このメニューでは、字幕の設定や色彩の調整等のビデオに関する各種設定が可能です。

手順

1. 再生中にⓧを押してビデオ再生設定メニューを起動します。
2. 上下ボタン ▲/▼ で設定する機能を選択し、OKボタンを押してそのサブメニューを開きます。
3. 設定するオプションを選択し、OKボタンを押して保存するか、Ⓢを押して設定をキャンセルします。



オンラインメディアのストリーミング

本機は次のオンラインメディアサービスに対応しています。

Netflix, Flickr, Picasa, TV, Radio



オンラインコンテンツは常に更新されています。最新の情報はASUSのWebサイトを
ご参照ください。<http://www.asus.com>



- 本機をインターネットに接続してください。ただし、インターネットリンクがブロックされる、問題があるなどの場合は、ネットワーク接続は無効になります。
- 本機を有線/無線LANネットワーク接続、プロキシサーバーネットワーク接続でインターネットに接続してください。詳細はChapter 2をご参照ください。
- オンラインメディアサービスは予告なく停止、中断される場合がありますが、弊社はそれらに対し一切の責任を負いません。

手順

1. ホームスクリーンから、左右ボタン◀/▶で「インターネット」を選択し、リモコンのOKボタンを押します。

⊙を押してもこのモードが起動します。



2. 左右ボタン◀/▶でオンラインメディアサービスのカテゴリーを選択し、OKボタンを押します。



「ラジオ」にキーワードを入力し、オンラインメディアサービスを検索できます。
「検索」オプションを決定し、検索したいキーワードを入力します。

3. 利用したいサービスを選択し、OKボタンを押します。



ラジオのよく利用するオンラインメディアサービス（番組）などを「お気に入り」に加えることができます。加えたいオンラインメディアサービスを選択し、左ボタン◀で「お気に入りに追加」を選択しOKボタンを押します。

Netflix からのオンラインストリーミング

本機をNetflix アカウントに接続し、TV番組や映画をHD外付けディスプレイに表示することができます。



- Netflix は米国のみで利用できるサービスです。
- コンピューター上でNetflix アカウントを有効にする必要があります。



Netflix アカウントを取得していない、またはサポート外のエリアで使用する場合は、1ヶ月の無料お試し版に登録することができます。詳細はNetflix のWebサイトをご参照ください。<http://www.netflix.com>

手順

1. ホームスクリーンから、左右ボタン◀/▶で「インターネット」を選択し、OKボタンを押します。Ⓢを押してもこのモードが起動します。
2. 「Netflix」を選択しOKボタンを押します。
3. ナビゲーションボタンで映画やTV番組等を選択します。

ファイルの管理

ファイル マネージャー では、デバイスとメディアファイルの管理ができ、メディアファイルを **ローカルハードディスク、USB、カードリーダー、ネットワーク**ごとに参照できます。






本機がネットワークに接続されていることをご確認ください。詳細はChapter 2 をご参照ください。

ファイル/フォルダーのインポート




インポートしたファイルやフォルダーは本機に保存されます。

手順

1. ホームスクリーンから、左右ボタン ◀/▶ で「**ファイル マネージャー**」を選択し、リモコンのOKボタンを押します。
2. インポートするファイル/フォルダーを選択します。次のソースからインポート可能です。**ローカルハードディスク、USB、カードリーダー、ネットワーク**
3.  を押し、「**インポート**」を選択します。 を押してもインポート可能です。
4.  を押して、インポートするファイル/フォルダーを選択します。
5. OKボタンを押して確定します。
6. 確認メッセージ「**インポート完了後、ソースファイルを削除しますか?**」で「**はい**」または「**いいえ**」を選択します。
7. インポートにはしばらく時間がかかります。終了したらOKボタンを押します。

ファイル/フォルダーの名前変更

手順

1. ホームスクリーンから、左右ボタン ◀/▶ で「ファイル マネージャー」を選択し、リモコンのOKボタンを押します。
2. 名前変更を行うファイル/フォルダーを選択します。次のソースから選択可能です。**ローカルハードディスク、USB、カードリーダー、ネットワーク**
3.  を押し、「名前変更」を選択します。
4. ナビゲーションボタンで仮想キーボードを操作し、新しい名前を入力します。
5. 入力したら仮想キーボードの「OK」ボタンを押します。

iPod または iPhone を再生する

本機は、動画ファイルを iPod または iPhone からHDTV等のHDデバイスに出力し、再生することができます。

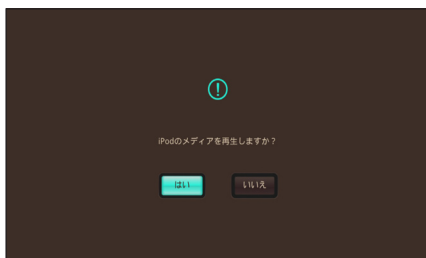
手順

1. 本機と、iPod/ iPhoneの電源をそれぞれONにします。
2. 付属の iPod 接続ケーブルで、iPod または iPhone を本機バックパネルの iPod ポートに接続します。

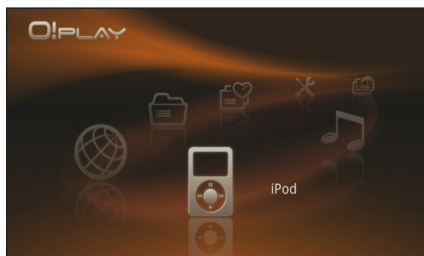


各デバイスが本機に正しく接続されていることをご確認ください。

3. リモコンのOKボタンを押します。



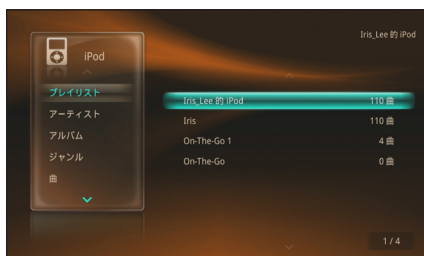
4. 本機のホームスクリーンから、左右ボタン◀/▶で「iPod」を選択し、OKボタンを押します。Ⓐを押してもこのモードが起動します。



5. 左右ボタン◀/▶で再生するメディアを選択し、OKボタンを押します。



6. ナビゲーションボタンで再生するメディアを参照/指定し、OKボタンを押して確定します。
7. OKボタンまたはⒷを押して、メディアファイルを再生します。



- 本機は iTunes により保護されたメディアファイルの再生には対応しておりません。
- 本機はほぼ全てのモデルの iPod、iPhone に対応しています。

Chapter 4

トラブルシューティング

トラブルシューティング

本機の使用、取り付け、セットアップ等に関してよく聞かれる問題を集め、その解決策をトラブルシューティングとして記載しました。トラブルシューティングを参照しても問題が解決しない場合は、ASUSのコールセンターにご相談ください。

ディスプレイ

Q1. 本機が動作しない場合は、まず電源アダプターをご確認ください。

- ・ 過電流、過電圧、オーバーヒート等により、本機の電源アダプターの安全機能が作動している可能性があります。
- ・ 本機の電源アダプターをコンセントから取り外し、数分後に本機の電源アダプターをコンセントに接続します。続いて本機の電源をONにします。
- ・ 上記の解決策を試しても問題が解決しない場合は、販売店にご相談ください。

Q2. TV画面に何も表示されず、本機の電源LEDも点灯しません。

- ・ TVの電源がONになっていることを確認します。
- ・ 本機の電源アダプターと電源コンセントに問題がないか確認します。
- ・ 本機の電源アダプターのプラグが本機のバックパネルとコンセントにしっかり接続されていることを確認します。

Q3. 本機の電源を初めてONにしましたが、設定画面が表示されません。TV画面には何も表示されず、本機の電源LEDは点灯しています。

- ・ TVの電源がONになっていることを確認します。
- ・ AV/HDMI ケーブルがTVと本機の端末に正しく接続されていることを確認します。
- ・ TVのビデオソースが正しく設定されていることを確認します（AV INまたはHDMI）。TVのリモコンでビデオソースを変更する必要がある場合もあります。
- ・ 本機の電源をOFFにし、数分後ONにするかバックパネルのリセットボタンを押します。
- ・ TVのHDMI 解像度が 720p、1080i、1080pをサポートしていることをご確認ください。

- ・ 本機の電源をOFFにする際は、完全にOFFになるまで待機してください。また、本機の誤作動の原因となりますので、本機の電源が完全にONになる前に、リモコン操作を行わないでください。本機が誤作動を起こした場合は、電源アダプターを本機から取り外し、再び取り付けてください。

Q4. TV画面が点滅する、またははつきり表示されません。

- ・ AV/HDMI ケーブルがTVと本機の端末に正しく接続されていることを確認します。
- ・ 本機の電源LEDがONになっていることを確認します。
- ・ TVのシステム設定がお住まいの地域の設定になっていることを確認します。
- ・ ビデオの解像度が正しく設定されていることを確認します。

Q5. 音楽ファイルやムービーファイル、画像ファイルが見つかりません。

- ・ メディアサーバー（例：USBストレージデバイス）またはコンピュータの電源がONになっており、スタンバイモードではないことを確認します。
- ・ 有線LANネットワークの場合は、イーサネットケーブルが本機とネットワークルータに正しく接続されていることを確認します。また、ルータの電源がONになっていることを確認します。
- ・ メディアサーバー（お使いのコンピュータ）が、本機をクライアントとして認識し、ファイルを共有しているかを確認します。
- ・ 静的（スタティック）IPアドレスをご使用の場合は、IPアドレスがネットワーク内の他のアドレスと同じ範囲に設定されていることを確認します。また、アドレスが他のPCやデバイスに使用されていないことを確認します。
- ・ 共有ファイルのフォーマットが、サポートされているフォーマットであることを確認します。

Q6. 特定のファイルが本機で再生できません。

本機がファイルのビデオ/オーディオのフォーマットをサポートしていない可能性があります。本機がサポートするフォーマットについては、Chapter 1 の仕様一覧をご確認ください。

Q7. ビデオ/音楽/写真が1つしか再生できません。リスト全体のファイルをまとめて再生できません。

再生するビデオ/音楽/写真を選択するとき、リモコンのOKボタンを押すと選択したファイルが再生され、再生/ポーズボタンを押すとリスト全体のファイルが再生されます。

Q8. イーサネットポートのLEDが点滅せず、有線LAN接続が利用できません。

- LANケーブルのプラグが本機のバックパネルのイーサネットポートにしっかり接続されていることを確認します。
- LANケーブルを交換します。
- LANケーブルを本機に再度接続し、ネットワーク接続を有効にします。


オーディオ

Q1. 音声が出力されません。

- 音量がミュートになっていないかを確認します。
- 「セットアップ」→「オーディオ」の順に開き、デジタル出力の設定が有効になっていることを確認します。



詳細はセクション「オーディオ再生設定を行う」をご参照ください。

- 複数のオーディオチャンネルをサポートするビデオを再生している場合は、リモコンの言語ボタン  を繰り返し押し、使用するオーディオチャンネルを選択します。

Q2. 音楽ファイルを再生しても音声が出力されません。

- オーディオケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- オーディオケーブルがTVに接続されている場合、TVの電源はONにしてください。
- オーディオケーブルがステレオに接続されている場合、ステレオの電源をONにし、正しいステレオ入力を選択されていることを確認します。選択するオーディオソースが不明な場合は、ステレオに付属の説明書等をご参照ください。

Q3. 表示されない音楽ファイルがあります。

本機は一般的な音楽ファイルフォーマットをサポートしていますが、ビットレートやサンプルレートの種類は非常に多く、ファイルが表示されない場合は本機サポート外のものである場合があります。サポートしているファイルのみをご使用ください。

USBストレージデバイス

Q1. 音楽ファイルやムービーファイル、画像ファイルが見つかりません。

- ・ お使いのUSBストレージデバイス (USBフラッシュメモリー/USB HDD) がスタンバイモードになっていないことをご確認ください。
- ・ サポートするファイル形式であることをご確認ください。

Q2. 本機がUSBストレージデバイスを認識しません。

USBストレージデバイスが認識されない場合は、USBドライバーやUSBケーブル、システムの応答時間のタイムアウト等の原因が考えられます。USBストレージデバイスをUSBポートから取り外し、再度本機に取り付けてください。または新しいUSBケーブル、他のUSBデバイスをご使用ください。

リモコン

Q1. 本機のリモコンが動作しません。

- ・ 電池が正しくセットされていることを確認します。
- ・ 電池を新しい物に交換します。
- ・ リモコンと本機の間に障害物がないことを確認します。
- ・ HDムービーをネットワーク経由でストリーミングを行った場合、スムーズに再生されない場合があります。また、リモコンが反応しない、反応が遅れるといった問題が起こる場合があります。

ファームウェアの更新

Q1. ファームウェアのバージョンは? 更新方法は?

更新する前にファームウェアのバージョンを確認してください。ファームウェアが最新の場合は、更新不要です。

- ・ 「設定」→「システム更新」→「USB」の順に開き、ファームウェアの更新を行います。
- ・ ファームウェアの更新ができない場合は、システムをリセットし更新を再度行います。
- ・ ファームウェア更新マニュアルがPDFファイルでご利用可能です (通常最新ファームウェアのフォルダー内に収録)。
詳細はASUSのサポートサイトをご参照ください。
英語: <http://support.asus.com/>
日本語: <http://www.asus.co.jp>

- ・ ソフトウェアのインストール中に本機がシャットダウンする場合は、更新作業は失敗です。本機の電源がONにならない場合は、本機のリセットが必要です。リセットを行い工場出荷時の初期設定に戻してから、再度更新作業を行ってください。

有線/無線LAN接続、インターネット接続

Q1. Wi-Fi ネットワークに接続できません。

- ・ Wi-Fi 設定に誤りがないかご確認ください。
- ・ ルーターに付属の取り扱い説明書を参照し、無線LAN接続を確認します。
- ・ アクセスするネットワークにパスワード保護や暗号化等の設定がされている可能性があります。無線LANにアクセスする場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Q2. Wi-Fi ネットワークの検索を行うと、暗号化されているネットワークが表示されます。暗号化されたネットワークへの接続方法は？

SSID (ネットワーク名) と暗号キーまたはパスワードが必要です。ネットワーク管理者にご確認ください。

Q3. Wi-Fi ネットワーク経由でストリーミングした動画が正常に再生されません。

考えられる原因

- ・ 接続速度が低い、または接続がビジー
- ・ 他の無線LANネットワークデバイスやBluetooth デバイス、無線電話、電子レンジ等との電波障害

Q4. 有線LANネットワークに接続できません。

- ・ セットアップタイプをDHCP (自動 IP)、または手動設定 (固定 IP) に設定してください。
- ・ DHCP IP (自動) を選択した場合は、ルーターのDHCPサーバーは自動的に本機に IPアドレスを割り当てます。
- ・ 手動設定 (固定 IP) を選択した場合は、IPアドレス、サブネットマスク、DNSサーバーの IPアドレスを入力します。



詳細はセクション「**有線LAN接続**」をご参照ください。

Q5. ネットワーク内でフォルダーを共有する方法が分かりません。

共有のネットワークファイルにアクセスするには、そのネットワークコンピューターファイルがネットワーク上で共有されている必要があります。詳細はセクション「ネットワーク経由でファイルを共有する」をご参照ください。

Q6. オンラインメディアサイトを見ていると、タイムラグが生じます。

- ・ 接続速度が低い、またはインターネット回線が込んでいることが原因です。回線が比較的込んでいない時間にご利用ください。
- ・ ご利用のネットワークで使用可能な帯域が制限されている場合があります。帯域を増やすには、サービスプロバイダ (ISP) 様にご相談ください。

Q7. インターネットラジオステーションやTVステーション等のインターネットメディアサービス利用中にネットワークラグが生じます。

ストリーミング状況やネットワークの安定性/トラフィックにより、ラグが生じることがあります。しばらくしてから再度これらのサービスをご利用ください。

Q8. 「ドメインネットワーク」は本機で利用できますか？

本機はドメインサーバーまたはドメインに接続したコンピューターからのストリーミングを公式には表明していません。対応可能な場合もありますが、弊社はこの機能を公式にはサポートしていないため、これに関する技術サポートも提供いたしかねます。技術サポートが必要な場合は、ドメイン管理者またはMicrosoft 社のサポートをご利用ください。

Q9. 他のオンラインメディアのサイトにアクセスできますか？

できません。アクセス可能なのは、ASUSが提供するオンラインメディアサービスのみです。また、コンテンツは常に更新されています。最新情報の詳細はASUSのウェブサイトでご確認ください。(http://www.asus.co.jp)

Q9. 有線LAN接続と無線LAN接続の両方を使用してネットワークに接続できますか？

できません。有線LAN接続、無線LAN接続のいずれかをご使用ください。

オペレーション/機能上のエラー

Q1. 本機のオペレーション/機能に関するエラー

- ・ ACアダプターを電源コンセントから取り外し、再度接続します。
- ・ クリップの先など、先端の尖った物で本機バックパネルのリセットボタンを押します。
- ・ それでも問題が解決しない場合は、弊社のコールセンターにご相談ください。

追加情報

本機に関する情報はどこで取得できますか？

- サポートCDに収録のユーザーマニュアル

本機に関する詳細情報は、サポートCDに収録のユーザーマニュアルをご参照ください。

- ASUSサポートサイト

弊社サイトで最新のファームウェア、ドライバー、ユーティリティを公開しております。<http://support.asus.com>

一般的なエラーメッセージ

エラーメッセージ	解決策
<ul style="list-style-type: none">IP conflict.Failed to get the album information.	本機の IP アドレスの設定を確認します。
Failed to create the album.	アルバムがフォルダー上にあること、アルバムが正しい場所にあることを確認します。
Hard drive cannot aggregate.	このエラーメッセージは、様々な状況で表示されます。例: ストレージの容量不足、ジャーナルファイルシステムをしている場合等。
No storage device is found	メディアファイルを含む USB デバイスを接続します。
Media Library requires more storage space: [XXXMB]	<ol style="list-style-type: none">1. 本機から USB デバイスを取り外します。2. USB デバイスをコンピューターに接続し、要求されるストレージ容量を満たすよう、不要なファイルを削除します。3. USB デバイスを本機に接続します。
Please turn off journaling on the attached storage's file system for the media player to compile the media library.	<ol style="list-style-type: none">1. 本機から USB デバイスを取り外します。2. USB デバイスを Apple コンピューターに接続し、ジャーナル処理機能を無効にします。詳細は Apple コンピューターのヘルプファイルをご参照ください。3. USB デバイスを本機に接続します。

エラーメッセージ	解決策
Unable to compile media library on the read-only storage device.	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本機からUSBデバイスを取り外します。 2. USBデバイスをコンピューターに接続し、ファイル保護設定が読み込みのみになっていないことを確認します。 3. USBデバイスを本機に接続します。
Unrecognized storage device.	サポートされていないUSBデバイスモデルです。他のUSBデバイスをご使用ください。
Question XX: WD USB HDD Trouble Shooting	システム診断エラーです。Western Digital テクニカルサポートにご連絡ください。
This folder is empty.	選択したフォルダー内にサポートするメディアファイルがありません。サポートする形式のメディアファイルを含むフォルダーを選択します。
Unable to play the selected file. Please recreate the file by using the included media editing software.	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本機からUSBデバイスを取り外します。 2. USBデバイスをコンピューターに接続し、ファイル形式を確認します。 3. USBデバイスを本機に接続します。

Chapter 5

付録

ご注意

REACH

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorisation, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we published the chemical substances in our products at ASUS REACH website at <http://csr.asus.com/english/index.aspx>.

Federal Communications Commission Statement

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device must accept any interference including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.



Any changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

Canadian Department of Communications Statement

This digital device does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital device set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

This class B digital device complies with Canadian ICES-003.

GNU General Public License

Licensing information

This product includes copyrighted third-party software licensed under the terms of the GNU General Public License. Please see The GNU General Public License for the exact terms and conditions of this license. We include a copy of the GPL with every CD shipped with our product. All future firmware updates will also be accompanied with their respective source code. Please visit our web site for updated information. Note that we do not offer direct support for the distribution.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

Terms & conditions for copying, distribution, & modification

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
 - a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
 - b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
 - c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
 - a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
 - b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
 - c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and “any later version”, you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

ASUS コンタクトインフォメーション

ASUSTeK COMPUTER INC.

住所: 15 Li-Te Road, Beitou, Taipei, Taiwan 11259
電話(代表): +886-2-2894-3447
ファックス(代表): +886-2-2890-7798
電子メール(代表): info@asus.com.tw
Webサイト: www.asus.com.tw

テクニカルサポート

電話: +86-21-3842-9911
オンラインサポート: support.asus.com

ASUS COMPUTER INTERNATIONAL (アメリカ)

住所: 800 Corporate Way, Fremont, CA 94539, USA
電話: +1-510-739-3777
ファックス: +1-510-608-4555
Webサイト: http://usa.asus.com

テクニカルサポート

電話: +1-812-282-2787
サポートファックス: +1-812-284-0883
オンラインサポート: support.asus.com

ASUS COMPUTER GmbH (ドイツ・オーストリア)

住所: Harkort Str. 21-23, D-40880 Ratingen, Germany
電話: +49-2102-95990
ファックス: +49-2102-959911
Webサイト: www.asus.de
オンラインコンタクト: www.asus.de/sales

テクニカルサポート

電話: +49-1805-010923*
サポートファックス: +49-2102-9599-11*
オンラインサポート: support.asus.com

* ドイツ国内の固定電話からは0.14ユーロ/分、携帯電話からは 0.42ユーロ/分の通話料がかかります。